



平成30年度 10月の園だより



みみよう保育園

【乳児期の大人のかかわり】

日中は気温の上がる日もありますが、暑さが和らぎさわやかな季節になりました。過ごしやすい季節になってきましたので、戸外に出てたくさん遊んでいきたいと思ひます。特に公園は、色づいた葉っぱや小枝、木の実など秋の自然物が盛りだくさんです。子どもたちと秋を感じながら、遊んでいきたいと思ひます。

先月の保育参観では多くの保護者の方にご参加いただきありがとうございます。5月の参観の時は、入園進級間もない時期でしたので様子が分からず緊張感もあったと思ひますが、今回は保護者の方がお互いに話をして情報交換をする場面も見られ、輪の広がりを感じました。また、子どもたちは、もちろんお父さんお母さんと一緒に、とても嬉しそでしたし、保護者の皆さんも日頃は忙しくて、一緒に遊ぶ時間がなかなかとれないのではないかとと思ひますが、参観では、お子さんとゆっくりと向き合っ、一緒に遊ぶひとときになったのではないかとと思ひます。

今回、子どもたちが自分の遊びたいあそびを選び、じっくりと遊んでいる姿を見て、大好きなお父さんお母さん(大人)の存在の大切さを実感しました。特に乳児期は、楽しい玩具やあそびがあるだけでは子どもは満たされません。何か面白いものを見つけた時や楽しい時、上手いかない時などに、振り返ればそこに見守ってくれ、応えてくれる大人がいること、一緒におもしろがり驚きと感動を共にしてくれる大人がいることで、子どもは安心してあそびに没頭したり、いろいろな

ことに興味をもって、新しいことに挑戦していくことができるのです。また、大人にしっかりと相手をしてもらい、語りかけられたり話を十分に聞いてもらった子どもは、人の話をちゃんと聞ける子、相手の気持ちを考えることのできる子に育つと言われていひます。

これから社会は、少子化やグローバル化がすすみ大きく変容してきます。記憶力や教えられたとおり正確に行う能力だけではなく、自分が向き合っている問題を解決する能力(問題解決能力)や、多種多様な考えや意見の違いを認め合い折り合いをつけながら、よりよい方法を考え見つけ出していく柔軟さが求められます。乳児期は人格形成の基盤となる大事な時期です。赤ちゃんの時からまるごと愛され受けとめられ、しっかりと大人への信頼感(愛着関係)を形成していくこと、1歳半頃からの自我の芽生えの時期には、「いやだいやだ」「じぶんで」などの子どもの思いや表現をまずは受け止め、「でもね」と大人の思いを返していくことが大切です。その丁寧な関わりを根気よく繰り返していく中で培われる自己肯定感(自分は自分でいいんだという自分に対する自信)が、将来何か困難にぶつかった時に、自分で考えて乗り越えたり、自分に自信をもって様々な事に前向きに挑戦したり、たくましく生きてぬいていく力になっていきます。一生のうち乳児期は今しかありません。今を大切に子どもの思いに耳と心を傾け、愛情たっぷりに関わっていきましょう。

園長

みみようフェスティバルのお知らせ

今年「みんなで遊ぼう!みみよう広場」をテーマに行いひます。

日頃から遊んでいるいろいろな素材を使ったあそびや感触あそびなど用意し、親子で不思議さやおもしろさを味わいながら遊んでいただきたいと思ひます。どうぞ、楽しい時間を阿過ごください。

物品販売やみみよう特製のおいしい食べ物もたくさん用意してひます。ご家族おそろいでお楽しみください。また保護者の皆様にはお手伝いをしていただきたいと思ひてひます。

ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

日時 10月13日(土)
10:00~14:00
場所 第二みみよう保育園



子育て応援メッセージ

笑っているお母さん
大好き
元気いっぱいのお母さん
大好き
でも本当は
どんなお母さんでも
大好きだよ



子どもにとっても 家族にとっても
お母さんの存在はとても大きいもの。
落ち込んだって、いいじゃない。
泣いたって、いいじゃない。
あなたに家族がいるかぎり、大丈夫だよ。

(社)全国私立保育園連盟
子育てメッセージより

健康診断

18日(木) 内科・眼科 13:00~
耳鼻科 13:20~

内科、耳鼻咽喉科、眼科の健康診断があります。気になることや園医にたずねたい事などありましたら、事前に担任までお知らせください。

